

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和3年度 第2回入間市健康福祉センター運営協議会
開 催 日 時	令和3年12月22日(水) 午後7時00分 開会・午後9時00分 閉会
開 催 場 所	入間市健康福祉センター3階 301・302会議室
議 長 氏 名	入間市健康福祉センター運営協議会会長 諸井 和江
出席委員(者)氏名	伊東 勇 委員 岩崎 廣司 委員 金子 明美 委員 滝沢久美子 委員 田邊 仁 委員 花井 康之 委員 諸井 和江 委員 佐藤 啓吾 委員 柳 辰男 委員 山本 寛 委員 今井 英雄 委員 高橋恵美子 委員 藤牧 利昭 委員
欠席委員(者)氏名	寺師 良樹 委員 星野ふみ子 委員
説明者の職氏名	健康推進部長 岸 道博 健康推進部次長 晝間 晴美 健康推進部参事兼所長 中村 孝 地域保健課長 晝間 拓哉 健康推進部副参事 須田美菜子 地域保健課 主幹 吉川真奈美 地域保健課 主幹 吉田 純子 地域保健課 副主幹 設楽久美子 地域保健課 主事 小川 真輝
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題(1)健康福祉センタートレーニング室について (2)その他 4 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料1 入間市健康福祉センター運営協議会 スケジュール(案) 資料2 健康福祉センター及びトレーニング室の設置目的と役割 資料3 トレーニング室の現状と課題について 資料4 トレーニング室利用状況(令和元年度の状況) 資料5 近隣市の健康増進施設の運営調査 資料6 入間市における民間施設運営調査
事務局職員職氏名	健康管理課長 須田 英樹 健康管理課 主幹 吉田 智博 健康管理課 主事補 九住 有梨華
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 1 議 題

##### (1) 健康福祉センタートレーニング室について

健康福祉センタートレーニングの設置目的や利用状況、近隣市の健康増進施設との比較について説明した。

##### (2) その他

次回の協議会の日程について報告した。

## 会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
司会(健康管理課主幹)	開会(省略)
諸井会長	会長あいさつ(省略)
議長	<p>本日の出席委員は13名です。健康福祉センター運営協議会条例第6条第2項の規定に基づき委員の半数以上が出席されていますので、会議は成立します。会議録の署名委員は岩崎委員にお願いします。</p> <p>それでは議事に入ります。健康福祉センタートレーニング室について事務局より説明願います。</p>
地域保健課長	<p>資料1「健康福祉センター運営協議会スケジュール(案)」の説明をさせていただきます。令和5年4月を新体制でのスタートを予定しております。令和3年7月を第1回として、トレーニング室の経緯・概要の説明をさせていただきます。また、トレーニング室の見学を行いました。本日は第2回目として、トレーニング室の現状と課題についてご説明させていただきます。次回、第3回目にトレーニング室の在り方や運営方法、利用料金について諮問を行い、5月、7月の協議を経て答申いただきたいと思います。</p>
地域保健課主幹	<p>資料2「健康福祉センター及びトレーニング室の設置目的と役割」の説明をさせていただきます。健康福祉センターは平成15年4月1日に開館した施設です。健康福祉センターの設置目的ですが、保健・医療・福祉の機能の一体的な推進を図るなかで『元気ないるま』を実現する推進拠点施設として設置され、トレーニング室はその中でも健康増進の機能ということで設置されています。</p> <p>続いて、健康福祉センターの基本理念ですが、1点は、市民一人ひとりが自ら主体的に取り組む健康づくりの支援、2点目は、障害の有無に関わらず、乳幼児から高齢者まですべての市民が地域の中で健やかで自立した生活を送れるように支援することを基本理念としております。</p> <p>次に、トレーニング室の設置目的ですが、健康福祉センターの設置目的及び基本理念に基づき、次の6点を目的に設置されています。</p> <p>①市民一人ひとりが、自ら主体的に取り組むための健康づくりの場を提供                  ②ノーマライゼーションの理念のもと障がいの有無に関わらずだれもが安心して健康づくりに取り組むことができる環境の整備                  ③担当医の意見に基づき、疾患でも安心してトレーニングできる機会の提供                  ④市民健康診断や人間ドックまたは特定保健指導などのツールを活かし、生活習慣病の予防・改善に取り組む実践的なプログラムの提供                  ⑤体力の維持・向上、ロコモ予防、フレイル(心身虚弱)予防、並びに認</p>

発 言 者	発 言 内 容
地域保健課副主幹	<p>知症予防など超高齢化社会における介護予防の一端を担う ⑥生活習慣病重症化予防、医療費の抑制、介護予防、ひいては健康寿命の延伸を担う</p> <p>トレーニング室の現状と課題について説明させていただきます。資料 3 をご覧ください。</p> <p>利用者数については、新型コロナの影響を受ける以前の平成 30 年度のデータとなります。新規登録者数は年間 1,000 人を超えております。開設当初の登録者数は 4,800 人でしたが、平成 20 年度以降は年間 1,000 人の登録者数となっております。トレーニング室を一度でも利用したことのある利用者は年間 2,800 人、延べ人数で 98,000 人、多い時は 1 日で 300 人近くの方に利用いただいております。しかし、新型コロナの影響もあり、現在の利用者数は 1 日 100 人程度となっております。</p> <p>利用者の割合の特徴としては、男女の利用割合が開設当時は 5 対 5 でしたが、平成 30 年度には 7 対 3 の男女比になっており、男性の利用が増えております。また、高齢者の方の利用が増えており、平成 15 年度は 65 歳以上の方は 18%でしたが、平成 30 年度には 56%に増加しており、平成 23 年度から平成 29 年度は 70%を超えた利用率となっております。</p> <p>その他、脳血管疾患、心疾患、インシュリン治療等や生活習慣病罹患者が利用者の半数以上を占め、障害者手帳をお持ちの方は無料で利用やダイアプランを構成している所沢市、狭山市、飯能市、日高市の方は入間市民と同料金で利用、定期券を利用ができることも特徴として挙げられます。詳細は資料 4 をご覧ください。</p> <p>続いて、他の施設にはない当トレーニング室の魅力について説明させていただきます。</p> <p>まず、メニューカードの活用です。利用状況に応じてメニューカードの色を変化させ利用意欲をかきたてる仕組みを取っております。また、利用前後に血圧を測定し、高い場合には医療機関の受診をすすめる等、健康への客観的なアドバイスが日常的に行っています。</p> <p>次に、相談しやすい環境ですが、市内外の利用者を問わず、希望する利用者に地域保健課の管理栄養士が栄養相談を行いダイエットや低栄養など運動と栄養バランスの取れた健康づくりが展開しています。特に低栄養に関しては、利用者自らが相談を希望することが難しいため、体重が劇的に低下した方については事情を聴くなど積極的に支援へ繋げています。その他、保健師による健康相談、歯科衛生士による口腔の相談、精神保健福祉士による心の相談等、利用者の要求に応じられる細分化された相談窓口が設けられています。</p> <p>次に、個別対応の充実ですが、軽度認知症疾患をはじめとした利用者の異変に気づいたら、地域包括支援センターへ繋げる等早期対応を行います。また、「診療情報提供書」をいただき、心疾患・脳血管疾患など重い</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長  今井委員	<p>疾患ある方も医師の許可のもと、トレーニングメニューを提供しています。さらに、関節疾患などで通常のトレーニング機器の利用が困難な方に対しても、個別で対応を行っています。</p> <p>トレーニング室の課題ですが、トレーニング機器の待ち時間の増加が主な課題となっています。特にトレッドミル（ランニングマシン）は9台設置してあり、利用時間も20分の制限を設けていますが、20から30人待ちとなっています。筋力トレーニングの機器も12種類ありますが、利用者の前に立ってお待ちになるため、圧迫感等やりにくさを感じている声もあります。また、トレーニング室の開室は9時ですが、開室前に20から30の方がお越しになっています。現在は新型コロナに伴う利用人数の制限もあるので混雑することは少ないですが、定期券利用の方は毎日来られたり1日に2回来られる方がいること、また、利用時間が3時間を超える利用者の増加が混雑の原因と思われるが、安全面からもトレーニング機器を増やすことは困難な状況であります。このような課題から、混雑するほど魅力のある施設とも言えますが、できるだけ多くの市民に安全に利用していただくには、混雑の緩和が必要と考えられます。</p> <p>続いて、料金の設定について説明させていただきます。一般の60歳の方を例にしますと、当施設の利用料は1回300円で冷暖房があり指導員もおります。入間市民体育館は同額ですが冷暖房はありません。所沢市民体育館は1回420円で冷暖房があり、狭山市市民総合体育館は1回200円で冷暖房がなし、狭山市サピオ稲荷山は1回200円で冷暖房があり、飯能市市民体育館は1回100円で冷暖房がなし、日高市日高アリーナは1回400円で冷暖房があります。利用時間については、どの施設も概ね午前9時から午後10時となっており、本市以外は利用時間の制限を設けております。また、制限時間を超えての利用については超過料金を設定しています。詳細は資料5をご覧ください。</p> <p>次に、民間施設の状況ですが、資料6をご覧ください。民間施設は様々な料金設定をしており、記載している料金以外で利用されている方もいらっしゃいます</p> <p>現在当施設は、一度に利用できる人数を50人に制限していますが制限人数を超える方の来場が想定されます。また、シャワー室の利用制限、新型コロナによる突発的な臨時休館に備えた定期券の販売中止を行っています。今後の新しい生活様式も踏まえ、混雑緩和のための新たな対策と、より多くの方が利用できるようにするためのご意見等いただければと思います。</p> <p>ご説明ありがとうございます。委員の皆様、ご質問などございましたらお願いいたします。</p> <p>資料3の利用者の割合についてですが、男女比が5対5から7対3と男</p>

発 言 者	発 言 内 容
地域保健課副主幹	<p>性の利用が増加している理由、女性の利用が伸び悩んでいる理由をどのように考えているか。</p> <p>登録者数は女性の方が多いのですが、男性の方がトレーニング室にフィットしている傾向にあると考えられます。特に定年退職された男性の利用が高まっています。女性はサロンやサークル活動等コミュニティを楽しまれる傾向にあります。男性は自分の目標に向けて取り組む傾向にあることが理由として考えられ、継続して利用されるのも男性の特徴です。</p>
今井委員	<p>男性増加の傾向は定年退職者の居場所と考えられ、定期券を購入して昼間にトレーニングに訪れる方が多いのではないかと考えます。</p>
藤牧委員	<p>男性増加については、女性が居づらい雰囲気があるのではないかと考えます。例えば、東京マラソンは海外のメジャーな大会に比べて女性参加者が少ないのです。女性は一般的に体育会系と呼ばれるような雰囲気があると居づらさを感じるのではないかと思います。そのような感触や調査はありますか。</p>
地域保健課副主幹	<p>女性が居づらいと感じる雰囲気があるかという点ですが、実際に調査をしたことはありません。ただし、トレーニング室のスタジオは貸出施設のため、ダンスやヨガといった女性に人気のあるプログラムが無いことも理由として挙げられると考えます。</p>
今井委員	<p>資料5についてですが、市としては利用時間制限を加えて、定期券の値上げしたい方向性にあるように感じますが、方向性としては私も賛成です。定年退職した男性が朝早くから長い時間利用する傾向は今後も強まると思いますのでインターネットによる利用予約のシステム化で時間を区切って利用人数を制限することが考えられます。また、利用料金を引き上げるには利用者が納得できる理由が必要です。単に入間市は特別利用料が低いから値上げするでは利用者の納得は得られませんが、利用者の平準化を図り誰もが快適に利用できる予約システム構築のための費用としての利用料金の引き上げならば納得が得られると思います。</p>
柳委員	<p>私もセンター開館当時にトレーニング室を利用していましたが、当時もトレッドミルは大変混雑していました。混雑の解消とより多くの市民の利用という、両方を解決するにはどうするかということを確認していくといいと思います。例えば、トレーニング機器を増やせば混雑が解消に繋がると思います。また、特に定期券は利用者にとって安価で喜ばしいものであり、毎日訪れたいと意欲を向上させるものだと思います。ただし混雑する要因でもあります。混雑を緩和させるのであれば定期券にも利用回数を</p>

発 言 者	発 言 内 容
地域保健課副主幹	<p>設ける考え方もあると思います。料金の値上げではなく、別の方法で工夫できればと思います。</p>
藤牧委員	<p>ご意見ありがとうございます。前回の会議の中で定期券に関して1ヶ月あたり12回等の制限を設けるという意見がありました。高齢者の利用が多く過度なトレーニングを行って救急車を呼ぶこともあります。安全性の面からも制限を設ける必要も感じておりますが、その点についてはいかがでしょうか。</p>
岩崎委員	<p>1ヶ月12回という意見は私が申し上げたかもしれませんが、本日、改めてトレーニング室の現状をお聞きして、これほど医療と保健指導や栄養指導等が整っている施設は日本中探してもそんなにありません。混雑が悪いのではなく、良い施設であれば多くの方が利用して当たり前だと思います。ただし、良い施設だからこそより多くの市民の方に使っていただきたいということで話を進めるのが一つの方法だと思います。例えば、トレッドミルという走る目的の機器がありますけど、彩の森公園を走ることを勧める等の対応もあるかと思います。</p>
滝沢委員	<p>施設利用の最初に血圧等を測定するとのことで、心拍数等を腕で測定して管理した場合、利用時間が3時間というのは長いと思います。その人にとっての適切な運動時間というように科学的な根拠をもって制限時間を設ける必要があると思います。</p>
諸井会長	<p>私は、この施設を1回だけ利用して止めてしまいました。理由は女性向きではないと感じたからです。男性の方が長時間滞在している中で利用できるタイミングを待ち続けて利用できたと思ったら次の機器の待ち時間になるという繰り返しで止めてしまいました。毎日利用している方は自分のペースを大切にしている、ペースを乱せない雰囲気が女性の居づらさにもなっていると思います。私の意見としては時間制限は必要だと思います。適度に休息を入れた方が身体に良いとされていますし、利用時間や利用回数の制限を設けることが必要だと思います。高齢者の利用が多く予約システムがどこまで有効に機能するか分かりませんが、利用料金を上げるよりも、少しずつ制限をかけていく方が私はいいと思います。また、女性が利用しにくい雰囲気は、使用中のトレーニング機器の前に立つという待ち方も関係しています。番号札の活用等、その場で待つ以外の方法を考えていただきたいです。</p>
諸井会長	<p>実際に見ても、データで見てもトレーニング室の利用は非常に男性の利用が多いと感じます。しかし、民間のジムでは非常に多くの女性が居ます。健康福祉センターのトレーニング室のように男性の利用が多いと女性</p>

発 言 者	発 言 内 容
花井委員	<p>は入りにくいいため、レディースデーのように、女性が利用できる環境を設けていただいた方が女性の利用は増えると思います。女性が利用しやすい環境を考えていただきたいと思います。</p> <p>私は所沢市の体育館を利用しましたが、女性の方が多く居ました。天井が高く、機器の間隔も広く、綺麗な施設でした。女性の場合は特に、施設が綺麗であることも利用したいと思うポイントのひとつだと思います。先ほどの意見でレディースデーを作ってほしいという意見をお聞きし、やはり入りやすい雰囲気作りが大切だと思います。また、所沢市の体育館では、個人の記録から目標に応じたトレーニングに取り組み、過度な運動をしないようにコントロールされていました。時間の枠を決めるより、トレーニングメニューを決めることで時間を短縮するという手段もあると思います。そうすると専門的な知識を持った人材が必要にはなりますが、パーソナルトレーナーをつけることで救急搬送される方も減らせると思いますし、料金の値上げに関しても、パーソナルトレーナーをつけることによる理由付けにもなると思います。</p>
佐藤委員	<p>先ほどから人数の面を中心にお話されていて、違う角度にはなりますが、ご説明いただきました人気のある機器について、機器ごとの利用時間の統計を取ったことはあるのでしょうか。設備の増設は難しいかもしれませんが、機器の利用率に差があるように感じました。利用率の少ない機器を減らし、空いたスペースに人気の機器を増やすというのはできないのでしょうか。</p>
地域保健課副主幹	<p>利用の時間帯に関しては夜間が空いているというご案内をしておりますが、機器の利用率について調査はしておりません。おそらく、利用者に尋ねても甲乙つけがたい結果になることが想定されます。</p>
諸井会長	<p>時間制限は無いことで身体に異常は起きないか。高齢者の利用が多く夢中になって長時間利用することで、かえって悪くなってしまう場合もあるのではないかな。</p>
地域保健課副主幹	<p>過度なトレーニングによって毎年熱中症で救急搬送される方がおりますが、トレーニングメニューは個人に任せている部分が多く、実際、長時間利用される方がいます。</p>
藤牧委員	<p>長時間利用されている方は、ずっとトレーニングしているのではなく、休憩を挟みながら利用されている方が多いのではないかな。心配する問題というより、より多くの方に使っていただくための時間制限が一番合理的ではないかと思います。また、レディースデーに関しては、もちろんあった</p>



発 言 者	発 言 内 容
今井委員	<p>方がいいとは思いますが、設けること自体に問題が発生する可能性があると思います。</p> <p>滝沢委員がおっしゃられた通り、筋骨隆々な男性の利用が多いというのは私も感じております。男性女性に限らず、熱心な方が居場所になっている状況による混雑を解消することが課題だと思います。レディースデー等で女性の定員を確保することで女性の利用は高まると考えられます。インターネットシステムの導入で、女性、男性の定員を管理し、女性の利用を増加させることができると思いますし、システムの導入を検討いただきたいと思います。</p>
地域保健課副主幹	<p>システム化につきまして、高齢者の利用が多いという特徴がございます。スマートフォンの利用が少ない世代を考えるとインターネットを利用した申し込みは現時点ではかなり難しいと思います。</p>
今井委員	<p>もちろん、私も公平性、平等性の確保が大切だと思っております。しかし、今、課題として挙げられているものをシステムの導入なしでどうやって解決していくかを考えると、施設の運営は非常に難しくなると思います。公平性、平等性を確保するためにもシステム化についてよく検討された方がいいと思います。</p>
金子委員	<p>私は多くの方に利用していただくためにも利用時間の制限を設けた方がいいと思います。また、トレッドミル等の同じ機器が複数台あるものは、女性専用の機器を設けていただきたいと思います。機器の待ち方に関しても、順番に名前を呼ぶ等の方法にすると女性の方は利用しやすくなるのではないかと思います。また、利用が少ない夜間の料金を安くすると日中の利用が減ると思いますがいかがでしょうか。</p>
地域保健課副主幹	<p>夜間の利用を促すという貴重なご意見ありがとうございます。今後、検討させていただきます。</p>
伊東委員	<p>利用料金に関して 1 点お伺いしたい。先ほどから意見が出ておりますが、闇雲に利用料金を上げることは私も賛成ではありません。所沢市や狭山市など、他市の利用者に関しても同額というお話を伺い、他市の施設でも同様に入間市民の利用料金は同額となっているのでしょうか。他市の方も同額で利用できるころが混雑をしようじさせているとも考えられます。</p>
地域保健課副主幹	<p>入間市民も近隣市のトレーニング室や公民館、図書館を利用させて頂く際に、その市民と同額で利用できることが、ダイアプランを構成する 5 市で協定が結ばれています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋委員	<p>先ほどの意見をお聞きして、税金を納めている入間市民と近隣市民との差別化は必要だと思います。最初、トレーニング室の赤字解消を最大の課題として挙げられていたかと思います。論点に戻り、どこからその財源を持ってくるかを考えると他市の利用者の見直しが考えられると思います。値上げに関して、私は賛成です。例えば、煙草の値段は現在 500 円近くなっていますが、それと比較して、トレーニング室の利用料金がワンコインになっても値上げを極端に嫌うことは無いと私は思います。</p>
佐藤委員	<p>資料 5 に掲載されている施設ごとのスペースというのはご存じでしょうか。</p>
地域保健課副主幹	<p>当施設が一番広く機器の台数も一番揃っております。財政負担が逼迫している現状においては受益者負担という点も念頭に置いてご協議いただければと思います。</p>
佐藤委員	<p>スペースを広げるのは可能でしょうか。</p>
地域保健課副主幹	<p>難しいのが現状です。</p>
滝沢委員	<p>先ほど入間市民も他市の施設を同額で使えるという話がありましたが、もし私が所沢市の施設を利用する場合、一般料金の 420 円を支払うということですね。その場合、やはり運動を続けようと考えたら入間市民はこのトレーニング室に来ると思います。</p>
健康推進部長	<p>本日は貴重なご意見ありがとうございます。入間市及び近隣市においては、ダイア 5 市における相互利用というものがございます。例えば、入間市に無い魅力ある施設が所沢市にあった場合も入間市民が利用することができます。今おっしゃられたように、トレーニング室に焦点を当てて考えると、当然他市の利用者について料金の見直しというご意見が出てくるものだと思います。ただ、ダイアプランについては職員の研修等、交流も含めたものとなっております。入間市だけが突出した施設運営を行うことは難しいと思います。また、当施設の意味というのは健康づくりということから始まり、筋肉トレーニングとは別物と捉えていただき、現在、高齢者の方の利用が非常に多くなっております。高齢化が進む中で、退職された方の利用も増えていくことが想定されますが、トレーニング室を多くの方にご利用していただきたいというものが根底にあります。資料 5 でご覧いただいたような他の企業の施設と比較し、ご利用できない方やご利用しない方も税金を納めていただいているため、受益者負担の公平性という観点での課題もあります。魅力ある施設であることをご説明させていただき、先ほ</p>

発 言 者	発 言 内 容
藤牧委員	<p>ど赤字というお話をいただいたように、課題がありますので、皆様にご意見をいただきながら、よりよい方向に進めていきたいというのが趣旨であります。また、昨今、民間圧迫という課題もあり、公共施設が安い価格設定のために民間企業を圧迫し始めるという事も問題視されています。そのような問題も含め、様々なご意見をいただき、参考にさせていただきたいと思えます。</p> <p>このような施設は単体で考えると赤字になると思えます。例えば、別の自治体では運動習慣がある方は医療費が 3%削減されたという結果が出ていました。健康福祉センターのように整っている施設の場合 10%から 15%くらいは削減できているのではないのでしょうか。トレーニング室を利用することで一人当たりの医療費が下がり、そのような方が増えればかなり医療費の削減になると思えます。年代別の医療費の統計を取り、トレーニング室のみで考えるのではなく、市全体の収支で考えてみてはいかがでしょうか。</p>
今井委員	<p>それを実現させるにはかなりの時間を要します。既にあるデータを用いておおよその効果を考えた方がよろしいかと思えます。また、先ほどの滝沢委員のお話にも関係するのですが、男性の方が寝たきりの期間が短く、女性の方が長いと言われているのは、筋肉量が少ないという理由があります。繰り返しにはなりますが、トレーニングに慣れた男性を強化するよりも女性に利用していただいて運動に取り組んでいただくことが、入間市全体の健康に繋がっていくのではないかと思います。</p>
議長	<p>その他を議題といたします。委員の皆様から何かございますか。</p> <p>(意見等なし)</p>
議長	<p>なければ、事務局から連絡事項をよろしく願いいたします。</p>
健康管理課長	<p>次回の日程は 3 月 16 日 (水) 午後 7 時からの予定となっております。よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>これで議題は終了しましたので、議長を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
柳副会長	<p>閉会あいさつ (省略)</p>
司会 (健康管理課主幹)	<p>これで令和 3 年度第 2 回健康福祉センター運営協議会を終了いたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和4年 2月 4日</p> <p>議 長 の 署 名 _____ 諸井 和江 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____ 岩崎 廣司 _____</p>